

指定文化財等台帳（市指定文化財）

名称	いちりづかあと 一里塚跡	員数			
分類（種別）	記念物（史跡）	指定番号	史 4		
指定等年月日	昭和62年 1 月 1 日	時代	江戸時代		
構造・形式等					
概要	一里塚とは、慶長 9 年（1604）に徳川幕府によって、江戸日本橋を起点として 1 里（約 4 km）ごとに主要道路の両側に土盛を築き、木を植えて標点としたものである。 現在の県道11号（角館六郷線）上で、陸奥から出羽へ至る旧生保内街道・旧白岩街道の分岐点にあたり、南部藩との藩境からおよそ十里あることから、通称十里塚とも呼ばれている。佐竹北家（角館）・南家（湯沢）の往復路として、また、佐竹藩主が街道沿いに本陣を置くなど藩政以前からの重要な街道であった。				
所在地	大仙市太田町横沢字相野 地内（太田地域）			標柱関連情報	
所有者	大仙市			標柱の有無	あり なし
所有者の住所	大仙市大曲花園町 1 － 1			材質	石柱 木柱
管理責任者					その他（ アルミ ）
管理責任者の住所				建立者	
備考				建立年月日	
				※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと	